

子供が1人1台で学び始めた今、 家庭に求められる情報モラル指導とは

ネットモラル

静岡県沼津市では、クラウド利用によるCBTの受講開始でNetモラルの活用が一気に進み、子供たちの情報モラル意識が向上しています。

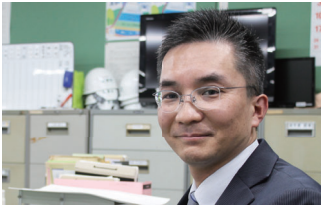
TOPIC 01 子供たちの学びが大きく変わり始めている

今、学校教育は激変し始めています。国が推し進めたGIGAスクール構想により、子供に一人一台の端末が与えられ、学習の道具として授業で使われ始めたのです。

「本校でも、一年生から六年生まで、どの教科のどの授業でも、子供たちは端末を使って学んでいます。『ここで端末を使うと便利だな』と自分が思った場面、自然と使っています。ネットで調べたことをクラウド上のスライドに班のみんなと一緒にまとめたり、理科の実験を動画撮影して見比べたりと、私たちが子供の頃とは、まったく違う授業へ変わりつつあります」と、沼津市立第五小学校の原恵理子先生は言います。授業だけでなく、端末を家でも使っています。沼津市では端末を毎日持ち帰らせ、宿題や自主学習を端末で行ったり、市立図書館から借りた電子書籍を読んだりしています。「子供の学びが変わり始めたことをぜひ知ってほしい」と、原先生は訴えかけます。

端末やネットを使う機会が増えたに伴い、トラブルや失敗も始めています。クラウドにある友達の写真のファイルを誤って消してしまったり、友達の文書ファイルに乱暴な言葉でコメントを書き込んだり。「一人一台になって、情報モラルを指導する必要性が、ますます高まっている」と、原先生は強調します。以前なら、「使用を禁止・制限」することで、トラブルを予防し、子供を守るうとしていましたが、「もはやそういう時代ではない」と、沼津市教育委員会の加納真先生は言います。「国が五千億円近い予算をかけて一人一台を整備したのは、将来ICTを仕事や学習で上手に使えるように、学校で練習し、経験を積むためです。禁止や制限をかけたのでは、上手に安全に使えるようにはなりません。人を傷つけたり命に関わらない限り、失敗してもいい。失敗から学ばせようと、沼津市では考えています」と、加納先生は力強く語ります。

実は、情報モラルの学び方も、変わりつつあります。今までは「先生に教わる」ものでしたが、今はそれに加え、子供が自主的に学び始めているのです。「休み時間や帰宅してから、子供たちは自分の端末で『事例で学ぶNetモラル』から興味のある動画教材を探して視聴し、付属のデジタルテストに全問正解するまで取り組んでいます」と、原先生。それだけではなく、沼津市の子供たちは、端末やネットを使う際の「ルール」を、自主的に作り始めています。学級や学年そして生徒会などで、子供と先生みんなが話し合っ、ル



沼津市教育委員会学校教育課指導係長
兼情報教育推進室指導主事
加納 真 先生



沼津市立第五小学校
原 恵理子 先生

ルを定めているのです。「情報モラルを学ばないと危ない！安全に正しく使いたい！」という意識が子供たちに芽生え、動き動かされているようです。

TOPIC 02 親子で一緒に、話し合い、学び、正しく上手な使い方を考えてほしい

このように子供の学びが大きく変わり始めている今、保護者には何が求められるのでしょうか。「まずは、子供が端末で何をしているのかを見守り、話題にしてほしい」と、原先生も加納先生も口をそろえます。

「わたしたち大人世代は、子供が端末を触っていると『また遊んでいる！』と思いがちです。しかし、YouTubeを見て遊んでいるのかと思いきや、学習に関連する動画を見ていた、ということも一人一台になってからはよくあります。日頃から話し合っ子供の利用状況を知り、端末を使って学ぶ姿を温かく見守っていただければと思います」(原先生)



家庭で端末を使う際のルールを決めるのもいいでしょう。その際には、大人が一方的にルールを決めて押しつけるのではなく、「子供と話し合っ、お互い納得できるルールを決めてほしい。そして一度決めたら終わりではなく、子供の利用状況や希望に合わせて、どんどん見直してほしい」と、原先生は教えてくれました。先日、保護者からこんな相談が寄せられたと、加納先生は話してくれました。「子供が一日中YouTubeを見て困る。学校で禁止してほしい」。そこで加納先生はこう答えました。「お母さん、親子で話し合い、考えるチャンスですよ」と。「家庭でも、失敗やトラブルを恐れず、どんどん使わせてあげてください。遊びに使ってもいい。遊びから学ぶこともたくさんあります。そして子供がつまずいたら、怒って禁止するのではなく、失敗こそ教育のチャンスととらえ、子供と話し合い、一緒に情報モラルを学び、どうすればよいかを共に考えてください。『走りながら考える』とも言えます。そういう時代になってきたのです」と、加納先生は語ってくれました。

学校教育が大きく様変わりしつつある今、家庭に求められる役割も保護者の意識も、変えていく必要があります。

情報モラルは家庭でも学ぼう！

そのためにも良質な教材をご利用ください

GIGAスクール構想により、学校教育は激変しています。端末やネットを使う機会が急増し、トラブルや失敗も増えてきています。情報モラルを指導する必要性はますます高まっており、「先生から教わる」だけでなく、子供たちが主体的に学ぶ姿勢が今後のより良い活用につながると考えています。



千葉県柏市教育委員会
教育研究専門アドバイザー
西田光昭先生

沼津市の取り組みに見られるように、制限して終わりにするのではなく、活用する中で問題が生じて乗り越えていく力を育てることはとても大切です。

ご家庭でも、学校とともに、子ども達が望ましくない体験があっても叱るだけでなくそれを学びの機会としていくことができるようにしていきましょう。

親子で一緒に、話し合い、学び、上手な使い方を考える！

不安

心配

子供たちが1人1台で学び始めた今、家庭でも子供たちが端末を使って学習を進める姿が多くなってきています。今までとは違う学び方に保護者の方は不安に感じるかもしれません。



勉強？



遊んでる？

親子で話し合う

家庭での端末の使い方について親子でしっかり話し合いましょう。子供たちがやりたいことを理解し、大人たちが感じる不安を話し合うことが大事です！



ルールを決める

親子で話し合ってルールを決めるのも良いでしょう。子供も納得して守ることができ、大人も信頼して子供たちを見守る事ができます。



沼津市でもご利用いただいております 広教 情報モラル教材

情報モラル指導がしたい！

そんな時には、

事例で学ぶ
Netモラル

事例で学ぶNetモラルをおススメします！

Point!

ドラマ仕立ての事例アニメだから、見るだけでも効果的！

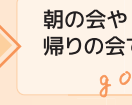


黙食で静かな給食時間でも

good!

A-24 ネットで会う約束をしない

えっ！こんな人だったの！



朝の会や帰りの会でも

good!



参観日に保護者と一緒でも

good!

情報モラル指導がしたい！

でも時間が確保できない！

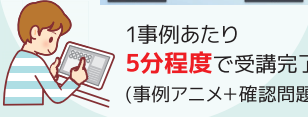
そんな時には、

事例で学ぶ
Netモラル
eラーニング

Netモラルeラーニングをおススメします！



スマホなしでは生きていけない



1事例あたり
5分程度で受講完了
(事例アニメ+確認問題)



Check!



クラス全体・個別の受講状況を把握

NetモラルCBT (Computer Based Testing)

※小中学校版のみ
※広教クラウド契約が必要です

子供の年齢や習熟度、そして学習のねらいから簡単＆気軽に子供の情報モラル理解度がチェックできます。



採点画面から
事例アニメも
視聴可能！



NetモラルCBT受講済みステッカー 無償配布中！



お申込みを
お待ちしております！

情報モラルの学びに
ぜひご活用ください。

広教ニュースレターは、情報モラルや情報教育に関するニュースや授業実践、また最前線でご活躍されている先生方の寄稿や対談などを掲載するニュースレターです。

広島県教科用図書販売株式会社
〒733-0032 広島県広島市西区東観音町15番12号
TEL 082-291-1088 FAX 082-291-1082
URL <https://www.hirokyou.co.jp> E-mail info@hiroshima@hirokyou.co.jp

広教
HIROKYO